

平成 23 年 5 月 11 日

各 位

東京都墨田区両国1丁目10番7号
株式会社 カーチスホールディングス
代表執行役社長 富 田 圭 潤
(コード番号 7 6 0 2 東証第 2 部)
執 行 役 高 田 知 行
電 話 番 号 : 0 3 - 5 6 2 5 - 7 6 3 5

業績予想の修正並びに特別損失及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 2 月 10 日に公表した平成 23 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正致します。また、平成 23 年 3 月期において、特別損失及び繰延税金資産の計上を予定しておりますので、併せてお知らせ致します。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 32,800	百万円 750	百万円 850	百万円 550	円 銭 2.33
今 回 修 正 (B)	34,207	1,041	1,140	634	2.69
増 減 額 (B - A)	1,407	291	290	84	—
増 減 率 (%)	4.3	38.8	34.1	15.3	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	29,585	388	433	69	0.30

(2) 修正の理由

平成 23 年 3 月期は、政府施策であるエコカー補助金制度の打ち切りによる影響を予測し、対策を実施したこと、また、新規店舗の出店による営業の効率化などが功を奏し、顧客買取台数が大幅に増加し、売上高の伸張に寄与致しました。また、第 4 四半期において、東日本大震災によって、一部店舗の休業等の影響はあったものの、1 月、2 月度の業績が好調に推移した上、3 月度においても震災の影響の軽微であった地域において被災地域の落ち込みを一部カバーした事によって、前回発表の業績予想の水準を上回る実績となりました。

その結果、前回公表した業績予想に対して売上高および利益ともに増加する見込みとなりましたので上記の通り業績予想を修正致します。

(注) 上記に記載致しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、既知、未知のリスクや不確定要素の要因により、実際の業績は上記予想と異なる可能性があります。

2. 特別損失の計上について

減損損失 490 百万円、災害による損失 55 百万円などを特別損失として計上する見通しです。

減損損失につきましては、当社が保有する固定資産のうち、当社が保有する新築マンション物件について、周辺に廉価な物件の販売が始まったことにより、当該物件の市場価値が急落したことや、築後一定期間が経過しながら未入居物件であり、相応な期間劣化が認められる事などから、保守的に見積もり再評価した結果、減損処理を行う事となりました。災害による損失につきましては、東日本大震災によって損傷を受けた店舗の修繕費や損害を受けた棚卸資産について損失を計上するものであります。

3. 繰延税金資産の計上について

当社は、平成 22 年 3 月期において黒字転換を、平成 23 年 3 月期においては大幅な増収増益を果たし、長らく続いておりました低迷期を脱出致しました。それに伴い、当期の業績見通しを踏まえ、「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会監査委員会報告第 66 条)に基づき慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上することとし、それにより法人税等調整額を 329 百万円戻入致します。

以 上